

平成 28 年度事務事業評価表(一般事業・継続)

No. 329

事務事業名	耕作放棄地解消事業
-------	-----------

作成日	平成 28 年 9 月 30 日		
部局名	農林水産部		
課名	農業水産課		
課長名	下玉利 輝幸	内線	266
担当者名	東 貴裕	内線	256

基本目標		活力に満ちた産業のまち
政策	040103	魅力ある農林水産業の振興
施策		農地の保全と有効活用
関連施策		

会計	一般会計	
款	6	農林水産業費
項	1	農業費
目	3	農業振興費
事業コード	090400	耕作放棄地解消事業

事業類型	5	負担金・補助金事業
個別計画		
重点事業		

【PLAN(計画)】

対象(者) 誰(何)に対して事業を行うか	町内会等各種団体		
意図 対象をどのような状態にしたいか	耕作放棄地となった農地(中山間地域等直接支払交付金及び多面的機能増進支払交付金の対象者を除く)に景観作物(コスモス、ヒマワリ、ナタネ等)を作付け、開花後は緑肥としてすき込み農地としての機能を維持し、農家が本来の農地として耕作できるよう保全する。		
事業概要 意図を達成するために実施することは何か	(1) H24年度から事業実施団体を募集し実施 (2) 対象地で農業委員会が認定する農地 (3) 年間補助金 35,000円/10a (4) 市全体最終目標解消面積 5ha (5) 種子は、面積・品目の要望を取りまとめ、市で一括購入する		
事業期間	平成 24 年度 ~ 平成 年度	実施方法	補助
根拠法令、要綱等	大村市農林水産振興事業交付金要綱		
国・県補助事業に係る本市単独施策	無		

【DO(実施)】

指標名(上段:名称/下段:算定式等)		単位	25年度	26年度	27年度	28年度	備考
活動指標	① 事業実施組織数	計画値	12	20	20	20	
		実績値	6	8	8		
		達成度	%	50.0%	40.0%	40.0%	
活動指標	② 取組面積	計画値	3.0	5.0	5.0	5.0	
		実績値	ha	2.2	2.6	2.6	
		達成度	%	73.3%	52.0%	52.0%	
成果指標	① 景観作物作付述べ面積	計画値	3.0	5.0	5.0	5.0	H26年度までで、新規募集終了
		実績値	ha	2.2	2.6	2.6	
		達成度	%	73.3%	52.0%	52.0%	
成果指標	②	計画値					
		実績値					
		達成度	%				

年 度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画
① 事業費(千円)	1,500	1,152	578	180	250	250	250	4,160
国庫支出金								
県支出金					250	250	250	750
地方債								
その他								
一般財源	1,500	1,152	578	180				3,410
② 人件費(千円)	835	1,511	494	509	事業内容	事業内容	事業内容	備考
職員人数(人)	0.10	0.20	0.07	0.07				
時間外勤務(時間)	20	0	0	0				
嘱託等人数(人)								
フルコスト(①+②千円)	2,335	2,663	1,072	689				

※財源内訳中の「その他」には、保険料・寄付金・基金・利用料等の収入を記入しています。

【CHECK(評価)】

<b>事業の進捗状況</b> 昨年度の評価から、どのような取組をしましたか(昨年度の【ACTION】の改善・改革の進捗等)	東大村、大村地区の耕作放棄地の一部(0.4ha)について、景観作物(コスモス、ナタネ)の作付ができた。
<b>事業が抱える問題・課題等</b>	本事業は、平成28年度で終了するが、国の事業が平成29年度から創設されることとなり、事業対象者、事業内容についても、国の実施要綱に基づき、今後、見直すこととしたい。

妥当性	【必要性】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	耕作放棄地は、周辺景観の悪化、病害虫の発生、有害鳥獣の生息範囲の拡大など農村環境に悪影響を及ぼすことから、耕作放棄地を解消する必要は高い。						
有効性	【市の関与】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	農地の保全と有効活用を図る上で、耕作放棄地を解消することは市の責務であるため市の関与は必要。						
効率性	【事業成果】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	景観作物を作付ることにより、一部の耕作放棄地の解消ができたが、目標に及ばなかった。						
効率性	【施策貢献度】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	農地として維持されることにより、良好な営農環境が図れる有効な事業であるが、目標としていた耕作放棄地解消面積に及ばなかった。						
効率性	【コスト】	削減の余地なし		削減の余地あり		該当なし	
	補助金の申請から、種子の配布、現地確認、実績報告にいたる一連の流れでは、事業実施組織数が少ないこともあり、余計なコストは生じていない。						
効率性	【負担割合】	見直しの余地なし		見直しの余地あり		該当なし	
	大村市農林水産振興事業交付要綱による。						

※事業類型が1～3に該当する事業については妥当性及び有効性の評価は記入しておりません。

【ACTION(改善・改革)】

今後の方向性
その他の見直し

<b>内容</b> 今後の方向性のもとで、どのような取組をするか(課題や問題点等に対する取組など)	中山間地域等直接支払制度事業や多面的機能増進事業で耕作放棄地の解消に取り組んでいく。
<b>効果</b> 事業の改善・改革によって期待される効果は何か	荒廃農地を解消し、農地が持つ多面的機能を復活させ、有害鳥獣被害の発生防止だけでなく、地域農業の振興に寄与させるためには、事業内容の見直しを図り、引き続き継続して実施していく。

1次評価	今後の方向性	担当者意見のとおり		2次評価	対象外	今後の方向性
	終期設定				終期設定	
	意見等				内容	

※1次評価は事業担当課長等、2次評価は2次評価委員会によって行われます。